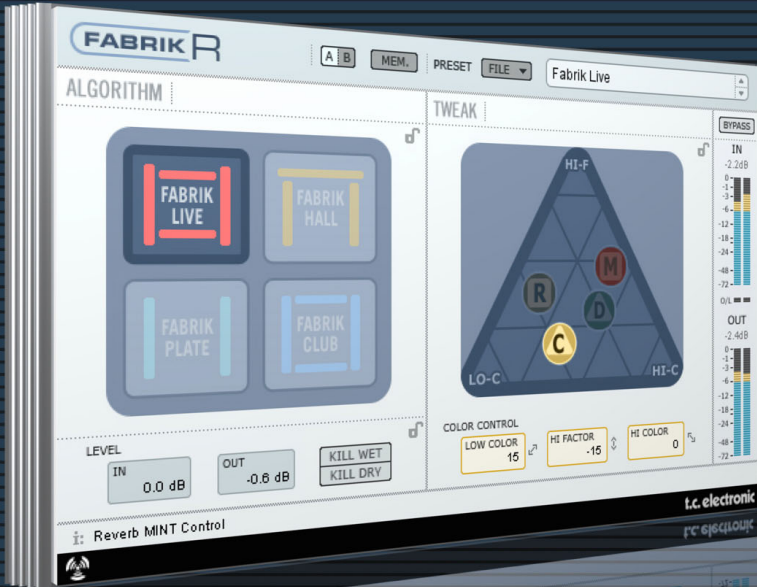




BUILT FOR POWERCORE

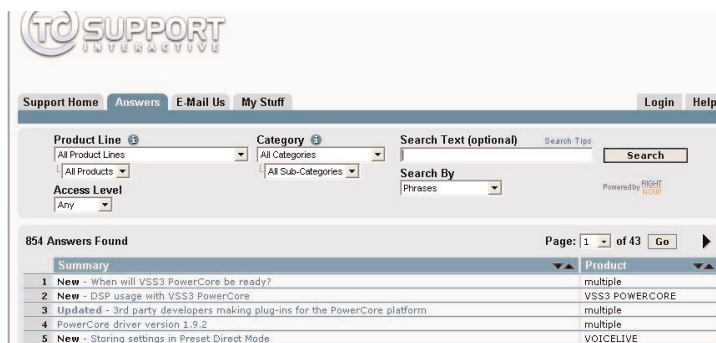


FABRIK R

サポート情報 - TC Support Interactive

TC Support Interactive (www.tcsupport.tc) は、オンラインのサポート及び情報提供のためのウェブサイトです (英語のみ)。TC Support Interactive では、TC ソフトウェア/ハードウェア製品に関する一般的な質問の解答を、製品/カテゴリー/キーワード/フレーズから検索可能です。一度サイトで登録を行えば、「My Stuff」セクションから、質問の状況を調べたり、製品マニュアルやソフトウェア・アップデート、プリセット等のダウンロードも行えます。

データベースは TC 製品に関する最新の情報が満載です。お求めの情報がデータベースにない場合は、質問を提出することも可能です。この場合は、TC のテクニカル・サポートのスタッフが電子メールでご連絡させていただきます。



The screenshot shows the TC Support Interactive website interface. At the top, there is a navigation bar with links for 'Support Home', 'Answers', 'E-Mail Us', and 'My Stuff', along with 'Login' and 'Help' buttons. Below this is a search section with dropdown menus for 'Product Line' (set to 'All Product Lines') and 'Category' (set to 'All Categories'). There is a 'Search Text (optional)' input field and a 'Search' button. Below the search section, it indicates '854 Answers Found' and shows a pagination control for 'Page: 1 of 43'. A table of search results is displayed with columns for 'Summary' and 'Product'.

Summary	Product
1 New - When will VSS3 PowerCore be ready?	multiple
2 New - DSP usage with VSS3 PowerCore	VSS3 POWERCORE
3 Updated! - 3rd party developers making plug-ins for the PowerCore platform	multiple
4 PowerCore driver version 1.9.2	multiple
5 New - Storing settings in Preset Direct Mode	VOICELIVE

連絡先

また、インターネット以外でのお問い合わせにつきましては、各地域の TC 支社または輸入代理店までご連絡ください。

TC ELECTRONIC A/S
Customer Support
Sindalsvej 34
Risikov DK-8240
Denmark

USA:
TC Electronic Inc.
5706 Corsa Avenue, Suite 107
Westlake Village, CA 91362

www.tcelectronic.com

© BY TC ELECTRONIC A/S 2006. ALL PRODUCT AND COMPANY NAMES ARE TRADEMARKS OF THEIR RESPECTIVE OWNERS. VST IS A TRADEMARK OF STEINBERG AG, AUDIO UNITS IS A TRADEMARK OF APPLE COMPUTER, INC. ALL SPECIFICATIONS SUBJECT TO CHANGE WITHOUT NOTICE. ALL RIGHTS RESERVED. TC ELECTRONIC IS A TC GROUP COMPANY.

目次

サポート情報及び連絡先	2
目次	3
動作環境	4
はじめに	5
プラグイン概要	6
ALGORITHM - リバース・アルゴリズム・セクション	6
TWEAK - 操作セクション	7
メーター・セクション	7
R - リバース・ページ	8
M - モジュレーション・ページ	8
C - カラー・ページ	9
D - ディスタンス/レベル・ページ	9
その他のパラメータ	10
プリセット管理	10
リコール時のセクション・ロック機能	11
A/B 比較	12

動作環境

Macintosh

デスクトップ機、iBook、または PowerBook
G4 または G5、733MHz 以上
Mac OS 10.3.6、あるいはそれ以降
最低 512MB RAM

FireWire 及び Compact:

400 MBit FireWire コネクタ (IEEE 1394)

PCI mkII 及び Unplugged:

空 PCI / PCI-X スロット (本マニュアルの執筆時には PCI Express 未対応)

VST / Audio Units / RTAS ※対応のホスト・アプリケーション (Logic、Nuendo、Live、Digital Performer 等)

Windows

デスクトップまたはラップトップ機
Pentium 4、1.4 GHz 以上
Windows XP、あるいはそれ以降
最低 512MB RAM

※ RTAS (Pro Tools) には FXpansion 社の VST - RTAS アダプター経由で対応 (オプション)。対応状況については、www.tcsupport.to をご参照ください。

基礎情報

スクロールホイール対応

Windows XP / Mac OS X 共に、ホスト・アプリケーションが対応している場合は全てのパラメータをスクロールホイールから操作できます。マウスをパラメータの値フィールドの上に移動し、スクロールホイールを動かすと、パラメータの値を上下できます。

キーボード・ショートカット

ほとんどのホスト・アプリケーションでは、次のキーボード・ショートカットが使用できます。次のショートカットは、全てのパラメータに有効です。

キーボード・ショートカット: Mac OS X

ファイン調節	= アップル・キー
デフォルト値への回帰	= オプション
コンテキスト・キー	= コントロール+マウス・クリック

キーボード・ショートカット: Windows

ファイン調節	= Alt
デフォルト値への回帰	= シフト + コントロール
コンテキスト・キー	= 右マウス・クリック

はじめに

この度は、Fabrik R プラグインをご購入いただき、誠にありがとうございます。Fabrik R は、プロフェッショナルなオーディオ・プラグインの活用法に革新をもたらす MINT™ (Meta Intuitive Navigation Technology = メタ・インテュイティブ・ナビゲーション・テクノロジー) を採用しています。MINT™ はオーディオの扱いに、シンプルで直感的な操作で極めて効果的な結果を得ることを可能にし、その結果、インスピレーションをかき立てるユーザー・インターフェイスを実現しています。

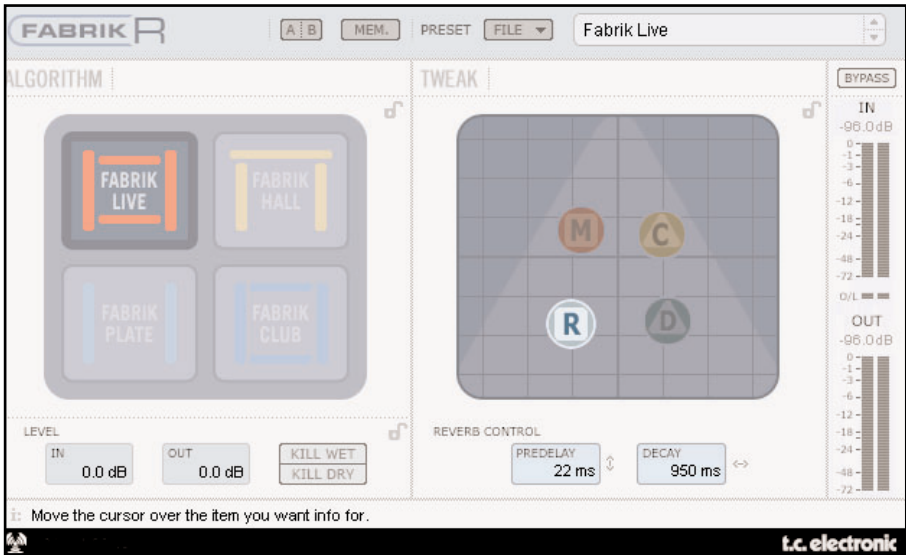
多くの場合、プロフェッショナルなツールは高度で煩雑な作業を伴うと思われがちですが、Fabrik はこの固定観念を覆します。Fabrik プラグインはオーディオの扱い方に新しいアプローチを採用しながら、多くの賞に輝く TC の技術を投入することにより最上級の音質を実現しています。

Fabrik R は、1 つのプラグインに 4 つの新しい TC アルゴリズムを統合しています。MINT™ を採用することにより、お求めのサウンドを素早く得ることができます。ヴォーカルや楽器などにライブ感を与えたい場合は、Live Reverb を使用します。ヴォーカルによりビッグな質感を与えたい場合は、Hall Reverb を選択します。レトロなサウンドを得たい場合やドラム／パーカッション類には Plate を、そしてギターには Club Reverb を選択します。Club Reverb はヴォーカルにも適しています。リバーブの種類を選択した後は、耳で効果を確認しながら極めて直感的に設定を調整できます。

主な機能

- MINT™ (メタ・インテュイティブ・ナビゲーション・テクノロジー)
- 4 種類の TC リバーブを搭載： FabrikLive / FabrikHall / FabrikPlate / FabrikClub
- 直感的でシンプルな操作によるパラメータ操作
- ヴォーカル、ドラム／パーカッション、インストゥルメントに極めて高い順応性
- 代表的なライブ・アンビエンスを完全にエミュレート
- 少ないツマミで多くのパラメータを操作可能
- Windows XP / Mac OS X 対応
- VST / AU 対応
- 24/96 対応
- 48 ビット・ダブル・プレジジョン内部演算

プラグイン概要



ALGORITHM - リバース・アルゴリズム・セクション

- マウスで4つの内いずれかのリバース・タイプを選択します。

LIVE - ライブ

生音を収録したソースは、多くのバックグラウンド・ノイズを含むことがあります。このようなソースに対しては、スムーズなディスクリート・リバースでは効果が埋もれてしまうため、よりブライトで粒子の粗いリバースが要求されます。Live リバースは、この様な用途に適しています。まずはミディアムからロングのリバース・タイムから始め、効果を確認してみてください。

Live リバースは、クリアでピンポイントなリバースが必要とされるヴォーカルや楽器に対しても優れています。様々な種類のソースでお試してください。その結果に驚かれるかも知れません。

HALL - ホール

多くのユーザーは、ソースが元から持つキャラクターを維持することに重点を置くため、ラージなリバースを避ける傾向にあります。Hall リバースは、ソースの特徴を維持しながら、ラージ・ホールの自然な空間を加えます。このリバースは幅広いスタジオ・アプリケーションで使用できる高い汎用性を持ち合わせており、ほとんどのヴォーカル素材において、多くの他機種に比べて優れた結果をもたらします。

PLATE - プレート

過去へ、ようこそ! 昔は、リバースの効果をを得るために、残響を持ったスプリングや大きい金属の

プレートを使用していました。Plate リバーブは、名称通り、プレート・タイプのリバーブをエミュレートします。打楽器を扱う際に要求される、ブライトで軽めの拡散するリバーブが必要とされる用途に適しています。

CLUB - クラブ

このリバーブは、ギターやボーカルに焦点を合わせたい場合の処方箋と言えます。ミディアム・サイズのクラブをエミュレートし、ソースに広がりのある親密感の高い質感を与えます。ギターにリバーブを与えたい、しかしスタジオム級のサウンドは避けたい、と言った状況に最適です。ギター以外にも、ヴォーカルやホーンなどにも良好な順応性を持ちます。

TWEAK - 操作セクション

パラメータの操作は、このセクションで行います。パラメータは4つのレイヤー（ページ）に分かれています。

R - Reverb (リバーブ)

C - Color (カラー)

M - Modulation (モジュレーション)

D - Distance (距離)

パラメータの値は、次の方法で変更できます。

- まずは、R / C / M / Dいずれかの駒にポインターを合わせてクリックすることにより、パラメータを選択します。次に、駒を任意の方向にドラッグすると、パラメータの値が変更されます。極めてシンプルな操作で、パラメータを操作できます。
- 下部に表示されるパラメータの値フィールドをクリックしながらポインターを上下させることにより、値を変更することもできます。
- パラメータの値フィールドをダブルクリックした後にキーボードから数値を直接入力することも可能です。

メーター・セクション

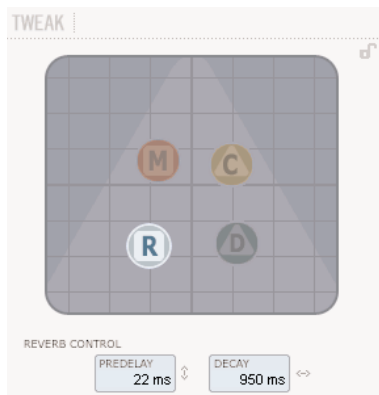
右のリストは、IN / OUT メーターのレベル分布を dBFS で示します。メーターの単位は、より正確な表示が必須である 0dBFS 及び -18 / -20 / -24dBFS 近辺などのキーとなる値に重点が置かれています。

O/L - オーバーロード・インジケーター

内部オーバーロードは、IN / OUT メーター間にある O/L インジケーターで示されます。特定の極端なパラメータ設定では、IN レベルが適当な値であっても内部オーバーロードが生じる場合があります。この場合は、LEVEL IN / OUT パラメータでオーバーロードを回避します。

0 dBFS	-16
-0.5	-18
-1	-20
-2	-22
-3	-24
-4	-30
-5	-36
-6	-42
-8	-48
-10	-56
-12	-64
-14	-72

R - リバース・ページ



Decay - ディケイ

設定レンジ：10ms～20s

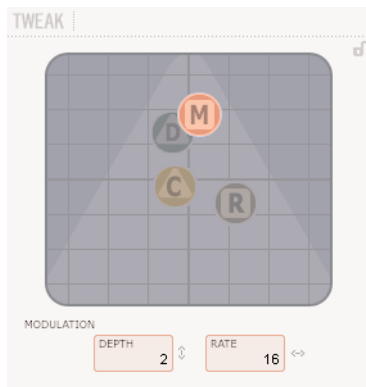
リバースの長さを調節します。リバースのディフェューズ・フィールドが約60dB減衰するのにかかる時間を指定します。

PreDelay - プリディレイ

設定レンジ：0～100ms

ドライ信号とリバース処理の間に挿入される短いディレイです。プリディレイは通常、ソースの信号をリバースと分離させ、クリアさを保つ目的で使用されます。

M - モジュレーション・ページ



本アルゴリズムは、リバースのディフェューズ・フィールドが極カスームズでナチュラルに仕上がる様に設計されています。場合によって、ディフェューズ・フィールドにモジュレーションを施すことにより、リバースが全体のサウンドにより馴染む様になります。モジュレーションは、リバースの質感を変更・調節する用途にも使用できます。

Modulation Rate - モジュレーション・レート

設定レンジ：±50

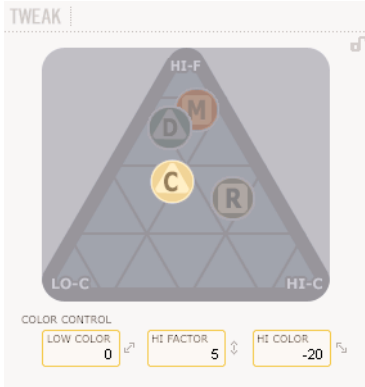
モジュレーションの速度を調節します。

Modulation Depth - モジュレーション・デプス

設定レンジ：0～200%

モジュレーションの深さを調節します。

C - カラー・ページ



Colorはリバーブのディフューズ・フィールドの周波数バランスをより細かくコントロールするためのパラメータです。リバーブのレベルを変更することなくリバーブ成分を目立たせたい、といった場合にHiColorを若干上げてみてください。

Low Color - ロー・カラー

ディケイ成分の低域のカラーを調節します。

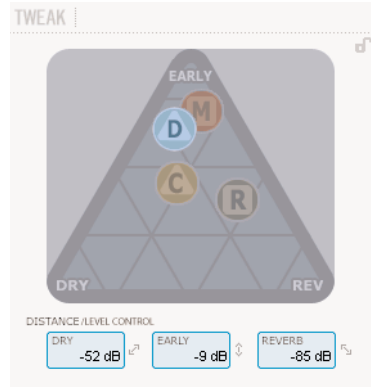
Hi Color - ハイ・カラー

ディケイ成分の高域のカラーを調節します。焦点を当てる周波数帯を選択します。

Hi Factor - ハイ・ファクター

Hi Colorパラメータで選択した周波数帯をエクスパンション、またはアッテネートします。

D - ディスタンス/レベル・ページ



Dry（ドライ）／Early（初期反射）／Reverb（リバーブ）のバランスは、ソースの距離感を定義します。ドライ信号が少ない程、聴感的な距離は増します。EarlyとReverbの相対的なバランスは、リバーブ全体の空間の特性とリバーブのディフューズ・フィールドのバランスを決めます。

Kill Dryを選択すると、Dry LevelがOffに固定されます。Kill Wetを選択すると、EarlyとReverbレベルがOffに固定されます。

Dry - ドライ

設定レンジ：Off、-24dB～0dB

ドライ信号のレベルを指定します。

Early - 初期反射

設定レンジ：Off、-24dB～0dB

初期反射は、リバーブの空間の特徴を司る成分です。ここで、初期反射のレベルを指定します。初期反射とディフューズ・フィールドのバランスを調節します。

Reverb - リバーブ

設定レンジ：Off、-24dB～0dB

リバーブのディフューズ・フィールドのレベルを指定します。

その他のパラメータ

Bypass - バイパス

プラグイン全体をバイパスします。

In / Out

入力レベルレンジ： -24 ~ 0dB

出力レベルレンジ： -24 ~ +12dB

アルゴリズムの入出力レベルを指定します。内部オーバーロードを示す O/L インジケーターが点灯する場合は、ここでレベルを調節します。

Meters - メーター

入出力メーターです。最善の音質を維持するに

は、In メーターがクリップすることなく極力 0dB に近い状態を保つ様にしてください。

Kill Dry/Kill Wet - キルドライ/キルウェット

リバーブは、インサートとセンド・エフェクトのいずれかとして使用できます。一般的には、バス上のセンド・エフェクトとして使用し、各チャンネルからバスに対して信号を送ります。センド・エフェクトとして使用する場合、Kill Dry が On の状態（デフォルト設定）で使用します。インサートで使用する場合はドライ信号を通過させる必要がありますので、Kill Dry は Off にします。

プリセット管理

プリセット管理はファイル・ベースで行ないます。これは、極力理解しやすく、シンプルにプリセットを管理するための配慮で、ユーザーのワークフローに合わせた形でプリセットを整理でき、他のホスト・アプリケーションやプラットフォームを使用している環境との間でもプリセットの交換が簡単に行える利点をもたらします。プリセットは、それぞれ個別のファイルとしてハードディスク上に保存されます。一度プリセットをデフォルトの位置に保存すると、プラグインを使用する時に自動的に「FILE」メニューに選択肢としてあらわれます。サブフォルダにも対応しているため、ユーザーの希望する作業スタイルに合わせて、削除、移動、新しいサブフォルダの作成などを行えます。プリセットのフォルダはプロジェクト別やクライアント別、または用途別など、ユーザーが整理しやすい方法を自由に選択できます。

NOTE: フォルダ内に最低一つのプリセットが含まれていないと、フォルダはプリセット・ファイル・メニューに表示されません。

Preset File Menu - プリセット・ファイル・メニュー

FILE ボタンを押すと、ファイル・メニューが開き、次の操作が行えます。



プリセットのロード

LOAD を選択すると、共有フォルダを含む、システム上で読み込み権限のある任意のフォルダを選択できます。デフォルトでは、Fabrik R プリセットのデフォルト位置からロードされます。ポップアップ・メニューには、Fabrik R プリセット保存用のデフォルト位置にあるプリセットのみが表示されます。

プリセットの保存

SAVE を選択すると、共有フォルダを含む、システム上で書き込み権限のある任意のフォルダを選択できます。デフォルトでは、Fabrik R プリセット保存用のデフォルト位置に保存を行います。

リコール時のセクション・ロック機能

プリセットをリコールした際に特定のセクションの設定が変わらない様にロックすることが可能です。こうすることにより、例えば、現在のアルゴリズムの選択を固定させて、他のプリセットの Levels と Tweak セクションの設定のみを変更する、といったことができます。

セクションの設定をロック／アンロックする方法

該当するセクションのロックをクリックすると、その後にプリセットを切り替えた際にも、そのセクションの設定がそのまま維持されます。

ロック状態 アンロック状態



プリセットの保存場所

Fabrik R プリセットは、次のプラグイン固有のフォルダに保存されます。

OS X

ファクトリー・プリセット:

\ Library \ Application Support \ TC Electronic \ Fabrik R \ Presets

ユーザー・プリセット:

~ \ Library \ Application Support \ TC Electronic \ Fabrik R \ Presets

[~] は、ユーザー・フォルダ内のユーザー名のフォルダを示します。

Windows

ファクトリー・プリセット:

~ \ TC Electronic \ Fabrik R \ Presets

ユーザー・プリセット:

My Documents \ TC Electronic \ Fabrik R \ Presets

[~] は、システム・ディスク内の、Program Files フォルダを示します。

- プリセットを消去するには、ゴミ箱に移動します。
- プラグイン・メニューでサブフォルダが表示される様にするには、Fabrik R のデフォルトのプリセット保存場所にある PRESETS フォルダ内に新しいフォルダを作成します。

NOTE: フォルダ内に最低一つのプリセットが含まれていないと、フォルダはプリセット・ファイル・メニューに表示されません。

A/B 比較



A/B ボタン

A/B 比較の機能により、二つの設定を比較しながら作業を進めることができます。

プリセットの操作をはじめた段階では、A/B ボタンは灰色で表示されます。この状態は、A と B の内容は同一で、比較する内容がないことを示します。

パラメータを一つでも変更すると、メモリー「A」がアクティブとなり、A/B ボタンの「A」の部分が光ります。パラメータの変更内容は全て「A」に反映されます。「B」に変更すると、始点に戻り、そこからの変更は全て「B」に反映されます。A/B ボタンを押すごとに、この二つの状態が切り替わります。

NOTE: A/B メモリーは、あくまでも一時的な設定の保存場所です。FILE ボタンや、セッションの保存によるプリセットの保存は、現在選択されているメモリー場所のみを保存します。他の（隠れた）メモリー場所の設定は、保存されません。

MEM.ボタン

「MEM.」 ボタンを押すと、A/B メモリーが現在の設定にリセットされます。